

運輸安全マネジメントレビュー議事録

実施日時	令和5年3月28日	参加メンバー	前田社長（統括運行管理者） 西澤取締役（安全統括管理者） 伊東取締役（整備管理者） 貝塚（乗務員代表）
＜ マネジメントレビューへのインプット情報＞			
《項目》		《内容》	
★安全監査結果		・ 運行管理補助者の点呼手順に問題があった。（監査）	
★顧客からのフィードバック		・ 予定通りの運行と安全走行を評価された。（管理）	
★法制度の改正による影響		・ 2024年4月からの改善基準告示の改正の中で特に拘束時間の制限により、受注量の減少が予測されると思われます。	
★社会情勢・業界の変化について		・ 燃油の値上げや法制度の改正により厳しい状況が続く中でも、安全に対する投資には積極的に対応していかなければならない。	
★前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ		・ 教育と適性診断の徹底がなされた。	
★安全計画の達成度		・ 速度超過違反をゼロにすることが達成されなかった。	
★改善のための提案		・ 教育の内容と方法を見直すことと、逐一の速度超過のアラームについてドライバーに警告を促す。	
＜ マネジメントレビューからのアウトプット＞			
★運輸安全マネジメントの有効性の改善		・ PDCAサイクルはおおむね適切に運用されていると判断できる。	
★サービスの改善		・ 顧客の要望を定期的に聞き取る。	
★資源の必要性		・ アルコールチェッカーの経年劣化について確認する。	
★その他			
＜経営者による指示事項＞		・ 監査員からの指摘について、すみやかに改善すること。	